

(国語)

自分の思いや考えを表現できる子どもを育てる指導法の工夫 —語彙を活用した読みの力の向上をめざして—

大阪市立港晴小学校 研究部

1. 研究主題設定の理由

平成29年度の質問紙調査において「国語の勉強は好きですか。」「読書は好きですか。」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」という項目において、大阪市平均を下回るという実態が明らかになった。そこで、国語科に対する学習意欲の向上、児童が自分の思いを適切に表現できる指導法の工夫を図ることをめざし、平成30年度より国語科の研究活動を進めることになった。最初の2年間は、物語文を中心とした取り組みを行い、学力経年調査において、一定の成果が見られた一方で、説明文の読み取りに関しては課題が見られた。そこで、令和2年度より説明文に視点を定めて研究を進めた。

令和3年度の学力経年調査の結果「読むこと」の領域において、いずれの学年も大阪市平均を1.4ポイントから5ポイント下回っていることが分かった。学習指導要領に「文章で表された情報を的確に理解し、自分の考えの形成に生かしていけるようにすることは喫緊の課題である。」と明記されている。そこで、「読みの力の向上」をめざした取り組みを進めていくことにした。

2. 研究の趣旨

学習指導要領において、「語彙を豊かにする指導の改善・充実」と「読書指導の改善・充実」が示された。そこで、本校では、「幅広い読書」と「語彙の習得」を意識した取り組みによって、語彙力を豊かにすることを通して、「読みの力の向上」をめざすこととした。また、「読みの力の向上」を図ることができれば、獲得した語彙の知識を用いて、自分の思いや考えを表現することができるようになるという仮説に立ち、研究を進めた。「語彙の活用」「意見交流」「読みの力の向上」を国語科に限らずあらゆる学習の場において意識的、効果的に繰り返すことで、「自分の思いや考えを表現できる子ども」を育成できると考えた。

3. 研究の概要

研究主題にせまるため、研究の視点を以下のように設定した。

視点①文章を正確に読み取る力を育む学習活動

- 気付かせたい語句や表現を明らかにする。
- 文の構造や内容を把握する指導方法を明らかにする。
- 教材文分析をふまえて育みたい読みの力を明らかにし、単元構成や学習活動を組み立てる。

視点②自分の思いや考えを表現する意見交流

- 交流を広げたり、深めたりするための工夫をする。
- 話し合いの視点を明確にした交流活動が行えるように工夫する。
- 学習活動に応じた交流形態、交流方法を工夫する。
- 交流を通して児童の考えの変化が分かる手立てを考える。
- 単元全体や他教科との関連を意識し、長期的な見通しをもって意見交流が深まる学習計画を組み立てる。
- ハンドサインを有効活用する。

4. 研究の成果と今後の課題

(1) 研究の成果

- 発問に対する答えが書かれている語句や文を見付けてサイドラインを引く活動は、文章を正確に読み取るために有効であった。児童は、根拠となる語や文を見付けようと、繰り返し丁寧に本文を読み進めることができた。
- 指導者が気付かせたい語句を明らかにし、発問を工夫しながら授業を展開すること、また、重要な語や文を掲示物などでいつでも振り返ることができるようにすることで、第Ⅲ次の言語活動へつなげることができた。
- 書かれている内容を文中から読み取るだけではなく、教科書の挿絵や指導者が別に用意した写真や動画などの資料、実演など、視覚支援を充実させることで、内容理解を深めることができた。
- デジタル教科書や本文の拡大コピーなどを用意しておくことで、どこに何が書かれているかが捉えやすくなり、効果的に共通理解を図ることができた。
- 発達段階や授業内容に応じて、1人で考えた後、ペア交流、グループ交流、全体交流など、交流形態を工夫することで、自分の考えに自信をもって発表しようとする児童の姿が見られた。
- 発表する児童のノートをICT機器を使ってモニターに映すことで、自分の考えと比べながら聞くことができた。
- ハンドサインで意思表示をするために、友達の意見を自分の考えと比べながら聞こうとする児童が増えてきた。また、発表することが苦手な児童も、ハンドサインを通して意思表示することができた。
- 1つの単元の中で、交流活動を繰り返すことで、徐々に自分の思いや考えを表現することのできる児童が増えた。

(2) 今後の課題

- 指導者の発問がより明確で工夫されたものにしていく。
- 個別指導の充実を図るための支援体制や効果的な支援方法についてさらに吟味する。
- 自分の考えをまとめる時間、交流する時間など、余裕ある時間配分を指導者は考えて計画を立て、授業展開を工夫する。